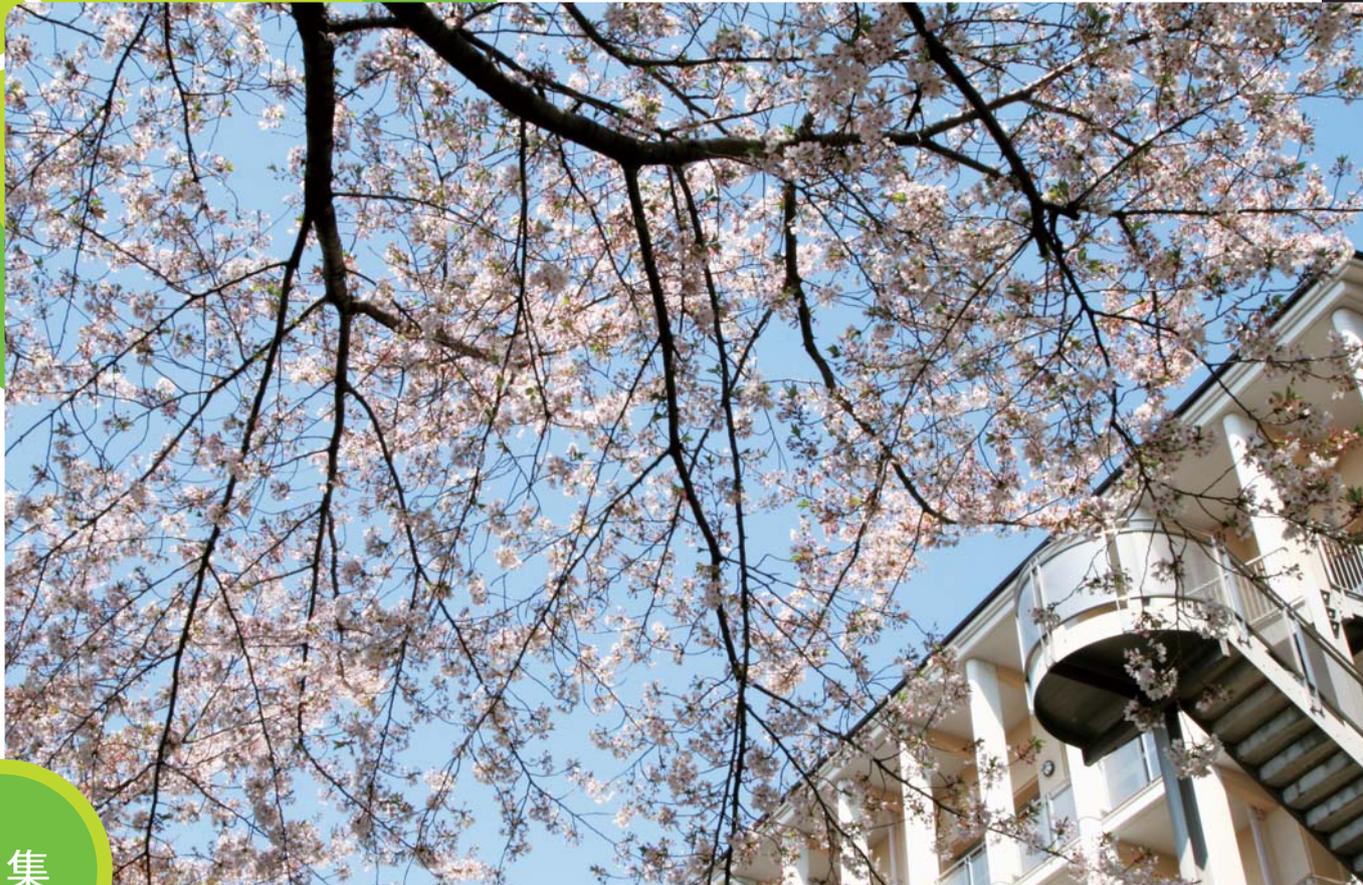




名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



特集

滝子(山の畑)キャンパスの桜 [写真提供]名古屋市立大学 写真部 伊藤 祐基(医学部4年)

名古屋市立大学 新体制発足

メディアも注目! 学生の活動紹介

- 「フェアトレード・チョコ」を贈ろう
- 長編映画「女の子ごっこ」劇場公開

- 01 学長メッセージ/新体制発足
- 03 特集
- 04 TOPICS
- 05 国際交流/受賞関連
- 06 イベントカレンダー/平成26年度 組織体制
- 07 平成26年度 新執行体制

DONATION

あなたの力が支えます。

寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課

tel.052-853-8005

攻めの広報で本学のさらなる発展を



理事長・学長

郡 健二郎

KENJIRO KOHRI

この4月から理事長・学長を仰せつかっております。郡健二郎でございます。本学のさらなる発展に向けて全力で努めてまいります。皆様からのご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

「広報」は、本学の運営において重要な要素の一つだと考えています。なぜなら、本学でなされている多くの素晴らしい仕事が、世の中に広く正しく理解されていないと思うからです。本学のさらなる発展には、本学のことをもっともっと知っていただく必要があります。そのために重要なのが「広報」なのです。ここでは、その二つの根拠をお示します。

一つ目は、中期目標の前文にある「すべての市民が誇りに思う、愛着の持てる大学を目指す」ということを達成させるために、まず本学の教職員と学生、その家族が誇りと愛情を持てる大学になることが必要で、そのためには本学の魅力を学内外に広く発信することが大切だということです。

二つ目は、本学が抱える最大の懸案である

経営基盤の改善において、広報は欠かすことができないということです。財政を立て直すには4つの方策、1) 運営費交付金と施設整備費のV字回復、2) 競争的研究資金の獲得、3) 寄付金の増額、4) 病院経営の安定化、による収入増がありますが、それぞれの方策を講じるには、本学の輝かしい活動状況を学内外に発信し、本学の社会における重要な役割を十分に知っていただくことが肝要だと思います。

このように、広報の活動は単に広く報じるだけではなく、本学の発展にどれだけ役立っているかを考えながら、取り組まなければなりません。そのためには、時には広報ではなく「広告」の要素も必要だと考えます。最後に学内の皆様へお願いがございます。以上のような考えを踏まえ、本学から社会に発信すべき活動を継続していただき、その成果を広報係に積極的にご連絡いただきたいと存じます。皆様のご協力により、広報を積極的に活用することで本学がさらに発展することを心より願っております。

名古屋市立大学 新体制発足!!

「名市大未来プラン」の準備始まる!

本学の新体制がスタートした4月以降、真っ先に作成を開始しているのが、「名市大未来プラン」です。このプランは新体制の任期であるこれからの4年間(2014-2018年)に早急に取り組み、達成すべき事項だけでなく、今後、リニア新幹線が開通する2027年を射程に含めて、これから15年後(2029年)までの中長期的な本学のありかたを意味しており、2006年以来、公立大学法人として歩んできた8年間の成果を継承しつつ、これからの「明るい未来」を大胆かつ綿密にランドデザインするものです。

プランの特徴は、暗い世相のなかで、名古屋市立大学の「明るい未来」を築くために、本学の内部だけでなく、外部である地域社会の有識者の見解も反映したプランを提示することにあります。来月6月末に公表を予定しています。

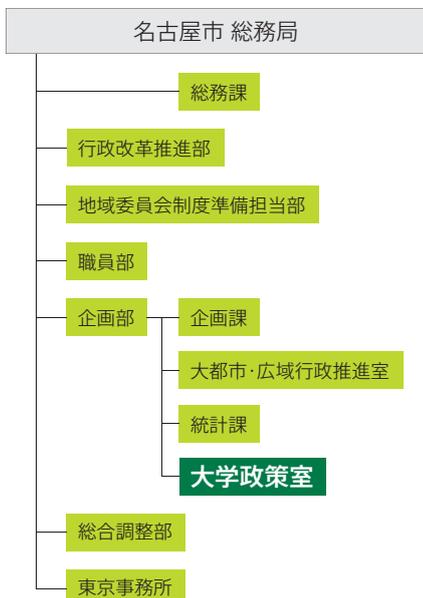
平成32年は、本学の創立70周年にあたります。それぞれの項目について、課題(目標)、取組方針、名古屋市との調整などについて確定される予定です。

未来プランの構成

- ① 1年以内 to 実現させる事項
- ② 今後4年間(平成29年度末まで) to 実現させる事項
- ③ 今後6年間(平成31年度末まで) to 実現させる事項
- ④ 15年後を見すえながら 実現に向けて取組む事項

② 大学政策室がスタート ～新体制による変化の第一歩～

名古屋市では、本学との従来の窓口であった「大学調整室」を改めて、この4月から、「大学政策室」として新しくスタートしました。これまで別々の窓口であった「本学との調整業務」と「大学等との連携政策の企画・調整業務」を集約したもので、「市と大学とのコミュニケーションを一層進め、まちづくりに活かしていくこと」を目標に、安田裕樹室長のもと、5名のスタッフが配置されています。



名古屋市立大学と人材育成

現在進行中の文部科学省へのCOC申請事業「子ども青少年『すこやかなごや』ひとづくり・まちづくり」を通じて、本学が戦略的に構想しているのは、地域に貢献する人材育成です。安田室長も「大学の大きな使命は、人材育成にあると思う。名古屋市では、社会連携センターが設置され、地域貢献が積極的に進められようとしており、有能な地域人材が育つのではないかと将来への展望を話します。



安田裕樹室長

名古屋市の将来計画と名古屋市立大学

現在、名古屋市では次期総合計画の策定が進められており、ここでは、大学と地域の連携によるまちづくりへも大きな期待が込められています。とりわけ公立大学である本学は、この地域における存在感を示していくことで、名古屋市における大学政策の中心的存在となるよう、大学内外のエネルギーを集約し、発信することが重要になります。

基本的な方針である「本学の存在、活動を市民に広く知ってもらおうこと」を目標に、大学政策室との連携を強化しながら、大学運営を図っていきます。

③ 明るい教育像

理事 伊藤 恭彦

本学の教育は、先達たちの偉大な努力の上に成り立っています。この伝統を継承しながら、激動する21世紀社会を生き抜く人材を養成する教育を発展させることが求められています。未来構想力と未来形成力をもった専門家を本学の教育で目指したいと思えます。

私たちは他者とともに未来に向かって歩んでいます。他者の考えを理解し、共感する「共感力」、自分の考えを他者に伝える「発信力」、そして他者と力を合わせ、問題を解決していく「共同力」、この3つの力量が未来構想力と未来形成力の中核にあると思えます。特に全学教養教育では、英語を含むコミュニケーション能力、つまり共感力と発信力の育成、地域で考え共同する力（共同力）を養う教育をさらに一歩進めていきたいと思えます。

④ 研究の深化拡大と国際化 理事 今泉 祐治

研究

研究の課題選択と推進をこれまで以上に活発に行えるように、外部研究資金獲得のため、情報供給とサポート体制の充実を図ります。特に省庁からのプロジェクト支援型助成は、教育・研究の両面に関わり、複数の学部・研究科・大学による複合チーム形成を求められる申請が一般化していることから、一致協力し、積極的に申請していく方針です。また、日本版NIH「日本医療研究開発機構」発足により、大型研究助成の仕組みが変わる可能性も高く、迅速な情報収集と

的確な状況判断・対応を行いたいと考えます。

国際

これまで実施してきた様々な国際交流を更に充実することに加えて、国の「留学生30万人計画」に関連した優秀な大学院（特に国費）留学生の獲得による、大学の国際化と国際的研究者人材育成の推進が特に必要と感じます。短中期の学生相互交流はもとより、優秀な留学生の獲得とそれを基盤とした国際的人材ネットワーク形成を推進したいと考えます。

01 学生の・学生による・学生に向けたバレンタイン提案 「フェアトレード・チョコ」を贈ろう

チョコレートには 「甘くない現実」がある!

2014年1月20日～2月14日、本学人文社会学部現代社会学科 伊藤恭彦研究室の学生から構成される「NCU Global Justice Project」(※1)と、名市大サークル「でら★FT」(※2)メンバーとの共同企画による「フェア・トレード・チョコレート」に関する啓発パネル展示・チョコレートの販売が、滝子(山の畑)キャンパス生協売店にて行われました。甘いチョコレートの背後にも児童虐待労働といった深刻な問題や、貧困や格差といった大きな不公正があること、フェアトレード商品について知ってもらうことをねらいとした活動で、多くのメディアでも取り上げられました。



紹介
メディア

- 2014年1月20日(月) CBCイッポウ!きょうのなぜ? 「チョコから知る甘くない現実」
- 2014年1月22日(水) 中日新聞朝刊 「フェアトレードのチョコを 市立大生ら バレンタインでPR」
- 2014年1月27日(月) 読売新聞朝刊 「フェアトレードのチョコを贈ろう バレンタインへ仕組み紹介」
- 2014年1月30日(木) メーテレ UP! 「チョコレートの甘くない現実」

※1 伊藤恭彦研究室「NCU Global Justice Project」
…研究テーマは「公正で持続可能な地球社会のための正義(グローバルな正義)」。この研究成果を学内外に発信し、少しでも多くの人々に考えてもらうための学生によるプロジェクト。
※2 フェアトレードサークル「でら★FT」
…滝子(山の畑)キャンパスを拠点にフェアトレード(以下FT)の普及など、身近な国際力を求めて活動をする学生団体。これまでにFT紅茶の試飲会やFTチョコレートの試食会、ケニアのストリートチルドレン支援のためのチャリティアクセサリーの販売などを実施。



02 プロの俳優に加え、本学学生・教員も出演 長編映画「女の子ごっこ」劇場公開



紹介
メディア

- 2013年8月27日(火) 中日新聞朝刊
「今年も市大生が映画製作中 テーマは性同一性障害」
- 2014年2月26日(水) 東海テレビスーパーニュース
「大学生の映画製作に密着 テーマは性同一性障がい」
- 2014年3月9日(日) 朝日新聞朝刊
「性同一性障害向き合い映画名市大生1年かけ制作 中村区で11日上映会」



性同一性障害を取り巻く 社会問題について描く

2014年3月11日、「性同一性障害」をテーマに、本学芸術工学部 栗原康行映像研究室(※)の学生が制作した映画「女の子ごっこ」の上映会が名古屋駅前ミッドランドスクエアシネマで行われました。主人公「のぞみ」は女子グループとの付き合いに嫌気が差し、高校進学を期に男子として生活し始める。そこで出会った「しのぶ」と親友関係になるが、しのぶは「自分は性同一性障害ではないか」と悩んでいた。しのぶの治療費を稼ごうと二人はアルバイトをはじめるが…。学生たちは約1年間、プロの役者を起用し、映画づくりを学びながら、体と心の性が一致しない障害の問題に向き合い、その活躍が多くのメディアでも取り上げられました。

※栗原康行映像研究室…企画・シナリオづくり・撮影・映像編集だけでなく、俳優との出演交渉・スケジュール管理など映像に必要な全ての手順を実践として学んでいます。 <http://www.sda.nagoya-cu.ac.jp/ykurihar/>

TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

TOPICS
DATE 2.14

「グーグルグラス」で手術を日仏間ライブ中継!

フランスで行われた人工関節置換術の手術技術を教授するため、メガネ型情報端末「グーグルグラス」を使って約1万km離れた本学に手術の様子が生中継されました。米国内では実施例がありますが、大陸間では世界初のことです。

フランスでは20年ほど前から使用されている人工関節(肩)ですが、日本ではこの4月から実用化されました。今回フランスで手術を執刀されたのは、その道の権威で

あるコラン博士です。今後は医学部附属病院で執刀する手術をフランスに中継する計画がありますが、詳細は夏号以降にお伝えします。



「グーグルグラス」とは?
米Google社が開発したヘッドマウントディスプレイ方式の拡張現実ウェアラブルコンピュータ。ハンズフリーに情報を開示し、音声コマンドでインターネットが使用可能です。



グーグルグラスを装着した、フランスに留学中の整形外科学分野 吉田先生(一番左)とコラン博士(右から2人目)

TOPICS

DATE 3.24



三宅事務局長(一番左)と戸前学長(左から2人目)

愛知中小企業家同友会と産学連携基本協定締結!

創設以来50年の歴史をもつ愛知県内の中小企業経営者の経営団体である愛知中小企業家同友会(現在、会員数3000余名)は本学で10年以上前から、経済学部における「地域企業活性化論」、人文社会学部における「問題認識特講」などの提携講義を実施してきました。この実績を踏まえて、産学連携基本協定を締結するに至った背景

には、これまで輸送機器を中心とする加工組立産業に統合されていた現在の中小企業経営を、本学の医療系研究室における技術開発のニーズあるいはシーズの開発・製品化にシフトさせたいという動きがあります。この協定締結は、中部経済新聞、NHK名古屋などで報道されました。

TOPICS

DATE 4.1

日本語は一切禁止! SALC (Self Access Learning Centre) 開設!

この4月、全学部の学生、大学院生、教職員が利用することのできる英語自主学习センター、NCU SALC (Self Access Learning Centre)が滝子(山の畑)キャンパス2号館309教室にオープンしました。

「英語でのプレゼン」や「外国人訪問者との英会話」など、社会に出たときに「使える英語を身に付けよう!」というのがSALCの目的です。

SALCでは、パソコンやiPadで英語の自主学习をしたり、英字新聞や英語で書かれた雑誌、小説等を使って、自由に英語を学ぶことができます。テーブル、椅子、ソファでリラックスして本を読んだり、ゲームを楽し

むこともできますが、会話は英語だけ。日本語は一切禁止です。

将来的には、月1回、愛知県在住の外国人で、ビジネス、芸術、教育、ボランティア活動などの分野で活躍する方々を招いてトークイベントを開催したり、ハロウィーンやクリスマスのパーティ、チャリティイベントを通して多様な文化に触れる機会もつくりたいと考えています。ぜひお時間のあるときに一度足を運んでみてください。たまには英語だけを話す空間に触れてみるのも新鮮ではないでしょうか。

(外国人教師 Louise Haynes
Venecia Williams)
人間文化研究科 小林かおり



英語学習をする学生の様子



ボランティアの学生たち

国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

まるで本物!?! マスクを使った演習 「MASK-ED™」を実施

オーストラリア

セントラル・クィーンズランド大学

看護学部

2014年3月5日、教育研究交流委員会の国際交流活動の一環として、セントラル・クィーンズランド大学の看護学部より2名の先生をお招きし、ワークショップ・講演会などのプログラムを開催しました。ワークショップでは、教員がマスクをかぶり模擬患者に扮して行う演習「MASK-ED™」を実演。マスクには性別・年齢の異なるさまざまなタイプがあり、参加した本学看護学部生、教員も驚きの完成度でした。世界的には非常に評価されている手法も日本ではまだ珍しく、今後普及していくことが望めます。



Ms. Debbie Austen先生(左)と、患者役のMs. Trudy Dwyer先生(右)。

年齢、性別にあわせて作られたマスク。

頭からカラダ全体を覆うように作られているマスク。中はとても暑いので20分間が限度。

次回は名古屋が舞台に!?! 歴史建築の再利用方法をリサーチ

スペイン

マドリッド工科大学

芸術工学研究科

2014年3月17日から1週間、協定大学であるマドリッド工科大学(Universidad Politecnica de Madrid)の建築部門(ETSAM: Escuela Tecnica Superior de Arquitectura de Madrid)と、本学芸術工学研究科が都市リサーチプロジェクトの国際共同ワークショップを開催しました。このワークショップは、本学より久野紀光准教授と院生を中心とした10名が渡欧し、マドリッドにおいて実践されている歴史建築の再利用方法をリサーチし、手法の整理を試みたものです。

1週間という短期間であったものの、互いに異なる歴史文化背景の目線からの議論によって、より客観的な観察が可能となったとともに、こうした働きかけは継続的に行う必要性を参加者一同が共有。次回は名古屋を舞台に開催することを願って本ワークショップを締めくくりました。



PRIZE 受賞

※受賞期間: 2014年2月1日~2014年4月30日
※敬称略、各研究科ごと・受賞日順に表示。



第30回 日本毒性病理学会 学術集会
会長賞最優秀賞

医学研究科 実験病態病理学分野
助教 内木 綾



第6回 日本不安障害学会 学術大会
奨励賞

医学研究科 精神・認知行動 医学分野
臨床研究医 川口 彰子



第263回 日本泌尿器科学会東海地方会
優秀発表賞

医学研究科 腎・泌尿器科学分野
臨床研究医 西尾 英紀



電子情報通信学会
SIS研究会若手研究優秀賞

システム自然科学研究科
准教授 田中 豪

★ 名誉教授称号授与

医学研究科 戸苅 創 教授、藤井 義敬 教授

薬学研究科 水上 元 教授

経済学研究科 神山 真一 教授

人間文化研究科 山田 明 教授

システム自然科学研究科

田島 譲二 教授、桑江 彰夫 教授

以上の各位に、2014年4月1日付けで名誉教授の称号が授与されました。それぞれの専門分野において研究・教育に尽力される一方、本学の発展及び管理運営に大きく貢献された各氏に、多年にわたるご尽力を感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りします。



寄附顕彰

※公表に同意された方。2014年1月1日~3月31日現在。

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

- 個人 50,000 円以上 平野 均 様
- 非公表 泉屋 憲孝 様
- 法人 非公表 株式会社 YAMAGIWA 様

イベント参加者募集! 名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

| 開催日 | イベント | 時間・場所 | 申込方法 |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6.14 SAT | Human& Social サイエンスカフェ 「シリーズ『日本』を考える(2)『日本書紀の呪縛』」 人間文化研究所 講師:人間文化研究科 教授 吉田 一彦 参加費:1,000円(スイーツ盛合わせ+お飲み物代) | 15:00~17:00 桜山(川澄)キャンパス 西棟1階 サクラサイドテラス | お名前、連絡先を記入の上、お申込みください。 メール:institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL・FAX 052-872-3536 |
| 6.20 FRI | サイエンスカフェ イン 名古屋 「ヒッグス粒子の発見とさらなる新粒子を求めて」 システム自然科学研究科 講師:名古屋大学 准教授 戸本 誠 氏 参加費:600円(コーヒー/紅茶/ジュース+お菓子) | 18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク7階 7th café(セブンスカフェ) | お名前、連絡先を記入の上、お申込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL 052-872-5802 FAX 052-872-1531 |
| 6.8 SUN | 第4回 名古屋市立大学病院 炎症性腸疾患患者さんのための医療講演会 医学部附属病院 消化器内科 | 13:00~14:40 医学部附属病院 3階 大ホール | 申込不要 |
| 8.15 FRI - 17 SUN | 卓展 芸術工学部 学生主体で行っている成果発表の展覧会 | 北千種キャンパス | 申込不要 |

■詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

平成26年度 組織体制

➤ 部局長あいさつ

■ 部局長



医学研究科長
浅井 清文

医師に求められるものは時代と共に変わります。今年度は、新しい時代に向け、学生から研修医、専門医まで、一貫して育成する体制づくりをめざし歩み出したいと思っております。



薬学研究科長
平嶋 尚英

「なごやかプロジェクト」等の事業を通して地域医療教育の充実をはかり、秋入学の導入と名工大との共同大学院による大学院教育と研究の発展を目指します。



経済学研究科長
焼田 党

サバティカル制度の導入によるファカルティの研究活動再活性化と、成果公表方法変更による大学院学生の研究活動活性化および博士前期課程修了要件の再検討による学生確保を目指します。



人間文化研究科長
伊藤 恭彦

公正で持続可能な社会を形成するための「知」の発信とESD (Education for sustainable development) を軸とした未来創造的な教育を強力に推進します。



芸術工学研究科長
鈴木 賢一

2016年創設20周年を迎えるにあたり卒業生約千名と在学生への教育成果を評価し将来計画につなげると同時に、学部で取り組む研究テーマを立ち上げ内外組織と連携を図ります。



看護学部長
山本 喜通

看護実践研究センターをより効率的に運用し、未来医療研究人材養成拠点形成事業「地域と育む未来医療人『なごやかモデル』」をはじめ、様々な地域貢献事業に取り組みます。



システム自然科学研究科長
能登原 盛弘

当研究科においては、今年度より博士前期課程、後期課程を通じて自然情報系と生命情報系の2系に再編し、分野の近い2教員のユニット制を進め、研究・教育の充実・強化を図ります。



総合情報センター長
三澤 哲也
経済学研究科 教授

図書館の学術情報環境や学習支援環境の一層の充実、機関リポジトリを通じた情報発信機能の強化、安全性や利便性の向上を意識した情報基盤システム作りにも努めてまいります。



医学部附属病院長
城 卓志
医学研究科 教授

診療報酬の実質マイナス改定など昨今の当院を取り巻く環境には厳しいものがありますが、大学病院としての特性を生かし、発展・前進し続けたいと考えています。

➤ 事務局組織改編について 以下の通り、組織の体制および名称変更が行われました。

| | 旧 | ➔ | 新 |
|------|------------------------|---|-----------------------------------------------|
| 体制変更 | 学術課 学術企画係 産学官連携係 | ➔ | 学術課 学術企画係 産学官連携係 社会貢献係(新設) |
| 名称変更 | 男女共同参画室・女性研究者支援室 | ➔ | 男女共同参画推進センター |
| | リエゾン・センター | ➔ | 社会連携センター(学術課 産学官連携係 社会貢献係) |
| | 国際交流推進センター | ➔ | 国際交流センター(学生課 国際交流係) ※滝子(山の畑)キャンパス学生会館2階に移転 |

平成26年度 新執行体制

副理事長・事務局長



三宅 勝

新体制の一員として、微力ではありますが、皆様と力を合わせて名古屋市立大学の発展に努力してまいります。とりわけ、事務局職員の更なる能力の向上に努めたいと思います。

理事・副学長

研究・国際担当
今泉 祐治
薬学研究科 教授

各研究者への迅速かつ徹底した情報供給とサポート体制の充実を図り、積極的な研究助成申請を推進し、また優秀な大学院(国費)留学生の獲得による大学の研究・教育の国際化を目指します。

総務・企画担当
井上 泰夫
経済学研究科 教授

低成長による閉塞感の強い現在、進行する少子化のなかで大学の生き残りをかけた競争が始まっています。この危機感を逆に好機として生かせる企画発案のために努力します。

教育担当
伊藤 恭彦
人間文化研究科 教授

将来社会を担う専門職業人を育成するための未来志向的な教育、学生同士がお互いに共感し、社会からも共感される教育、人間らしいハートを育成する教育を目指します。

理事

病院担当
城 卓志
医学研究科 教授

新しい年度が始まりました。名古屋市立大学のさらなる発展のため、病院も常に変化するという気持ちで努力していきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

理事(非常勤)

財務担当
土森 道雄

公立大学という枠における財政的逼迫のジレンマにある中、意欲的な大学運営構想を実行されようとしている新理事長の下、適切な財政運営に微力ながら寄りたいと考えます。

産学官・地域連携担当
青山 高美
(株)メルコホールディングス 監査役

知的財産活用支援を充実、成果を産業界へ積極的に発信して、成果の社会還元・活用を図り、本学の研究活性化と地位向上に努めます。関連大学との協調・競争の推進を図ります。

監事(非常勤)

弁護士
宮崎 真

今年度から監事に就任しました。弁護士実務、大学非常勤講師や弁護士会副会長等の経験を生かして、適正な業務運営が確保されるよう取り組み、本大学の発展に寄与してまいります。

公認会計士
中澤 政直

本学の健全な発展に資するため、公認会計士としての専門分野である会計監査に関連し、監事の職務の中でも特に会計経理の適正を確保することについて重点的に取り組んでまいります。

名誉教授
上田 龍三

名古屋市立大学の6学部7研究科が新体制のもと個性・特性を発揮し、一層市民に開かれ、世界に羽ばたく総合大学として充実するために少しでもお手伝いができればと念じています。

名古屋市病院局長
山田 和雄
医学研究科 教授

市立大学理事会に病院局から病院連携理事として参加しております。市立大学との学生教育や共同研究、市立大学病院との研修医教育、また市役所内の状況の共有など前向きに諸問題に対応致しますので、よろしくお願ひします。

学長補佐

国際・医療担当
杉浦 真弓
医学研究科 教授

国際交流、医療を担当いたします。医療安全副院長の経験を活かして、附属病院の役割を大学の中でご理解いただき、大学がますます発展するように尽力したいと思います。

研究・学術連携担当
林 秀敏
薬学研究科 教授

研究・学術連携担当の学長補佐を拝命いたしました。微力ではございますが、大学の活性化のために、部局間、そして様々な機関との強く有機的な連携が築けるよう尽力したいと思います。

情報担当
三澤 哲也
経済学研究科 教授

日々進化する情報通信技術は大学の様々な活動に大きな変革をもたらしつつあります。こうした時代の流れを見据えながら、よりよい学術情報環境の整備に尽力してまいります。

自己点検・評価担当
吉田 一彦
人間文化研究科 教授

自己点検・評価では、着実に業務を進める部分と、大学の将来を見据えて新たな展望を示す部分とのメリハリをつけて仕事をしていきたいと考えています。また、行政、市民との連携を深め、地域連携教育を推進したいと考えています。

入試改革・就職担当
草間 晴幸
芸術工学研究科 教授

「入試改革・就職」担当であり、大学の入口と出口の問題に対応します。大学教育の観点から、向学心に満ちた学生を集める対策と学生を効率的に社会に送り出す対策に尽力します。

地域貢献・教育担当
明石 恵子
看護学部 教授

市民の皆様や関係機関の協力を得て、子ども青少年のすこやかな育ちと自立の支援およびエイジング・イン・プレイスの実現に寄与する人材の育成に尽力いたします。

学部設置担当
湯川 泰
システム自然科学研究科 教授

新(理)学部設置の準備作業を担当します。本学の基礎自然科学分野の研究と教育を充実させ、地域社会にさらに貢献できる重要な大学に発展するため努力させていただきます。

医療・病院経営担当
平岡 翠
附属病院看護部長

医療・病院経営を担当します。当病院の使命である「質の高い高度医療」の継続的な提供とその土台である病院経営を見直し、選ばれる名市大ブランドの確立を目指します。

ご意見・情報
募集中!

広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。
また、広報に関する報告・相談には「広報ホットライン」をご活用ください。
教職員限定サイト <http://intra.nagoya-cu.ac.jp/intra/hotline>

<ご協力ください> 敷地内・周辺道路は禁煙です。 